

意見交換会報告書（福祉保険委員会）

国立市議会意見交換会

開催日時	令和3年11月9日（火） 午後1時30分から午後2時40分			
開催場所	国立市役所 委員会室			
出席議員	望月 健一	石井 めぐみ	青木 淳子	古濱 薫
	高柳 貴美代	石井 伸之	住友 珠美	
相手先	社会福祉法人弥生会 特別養護老人ホームくにたち苑			
参加人数	4名			
報告内容	<p>【意見交換会の概要】 現在のコロナ禍での高齢者福祉について、どのような支援が必要となっているのか、実際に国立市で介護に従事している事業所・団体の方々とオンライン会議（特別養護老人ホームくにたち苑）や対面での会議（フレイルサポーター）を行い意見交換を行った。</p> <p>【主な意見】 オンライン会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設でのコロナが発生した際、市から得られた後方支援が有難かった。物資供給や情報の適切な公開、保健所との繋ぎなどがあった。感謝している。 ・人材確保の支援をしてほしい。応募がなく派遣をお願いするとその分の費用がかかり、運営が大変になってしまう。 ・感染についての公的な支援がない。危険手当など欲しいところである。 ・外部との会議などは参加を見送っている状況。 ・家族の面会は最近やっと緩和して少しだけ行えるようになったが、以前は全面禁止だったため、タブレットなどを購入してオンラインでの面会を行っている。 ・ボランティアが来られないことにより、合唱などの楽しみが減ってしまった。 ・利用者は外に出たいといった要望は強い。 ・パルスオキシメーターの不足については、大丈夫であった。 ・今後のために備えて、経験を生かすことについては、現在対策マニュアルを作成中である。特に(DMAT)と言われる災害派遣医療チームから受けたゾーニングの知識や2次的作業の効率化に取り組んでいく。 <p>【意見交換会の集約】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出書類については、一人一人の援助計画の作成や記録が多いが、記録を減らすことは出来ない。⇒IT化の検討が必要と考える。その点の支援も考えるべき。 ・法律に定められている人員配置（利用者3人に対して職員1人）では人手が足りない。⇒法改正などが必要になっている。 ・コロナ対応については介護保険事業者連絡会にて報告を行い着脱が難しいガウンの講習会が行われたということであるが、市のバックアップの下、定期的な情報交換の場は必要である。 ・今の課題として介護職員不足は深刻であるため、市は重要課題と認識し、どのような方法があるか、様々な角度から検討を要する。 			

国立市議会議長 様

令和3年12月12日

報告者 福祉保険委員長 住友 珠美